

クリスティアン・テツラフ(ヴァイオリン)

Christian Tetzlaff, violin

テツラフ・カルテット

エリーザベト・クフェラート(ヴァイオリン)

Elisabeth Kufferath, violin

ハナ・ヴァインマイスター(ヴィオラ)

Hanna Weinmeister, viola

ターニャ・テツラフ(チェロ)

Tanja Tetzlaff, violoncello

ラルス・フォークト(ピアノ)

Lars Vogt, piano

これ以上ない極みの内容で
2日に亘って祝う、
ベートーヴェン生誕250周年

25
KIOI HALL
NIPPON STEEL
Arts Foundation

クリスティアン・テツラフ ベートーヴェン・セレブレーション

Christian Tetzlaff – Beethoven 250 Celebration 1 & 2 with friends

2020年

9/25 金 & 9/27 日

19:00開演

14:00開演

9:00 on 25th & 14:00 on 27th September 2020

紀尾井ホール

料金 S席9,000円 A席6,500円 U29 A席3,000円 15%OFF

2日間セット券16,000円(S席)

発売 <紀尾井友の会優先発売> 2020年5月13日(水)

<一般発売> 2020年5月16日(土)

15%OFF 友の会会員様は定価の15%割引でご購入いただけます(2日間セット券およびU29は除く)。
※友の会割引は一会員様4枚までとなります。

チケット申込み 紀尾井ホールウェブチケット <https://kioihall.jp/tickets>

紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061

受付時間10時~18時/日・祝休

U29

公演日当日に小学生~29歳以下の方ならどなたでも利用できるチケットです。紀尾井ホールウェブチケットのみで取扱います。枚数には制限があります。詳しくは紀尾井ホールウェブサイトへ。



第1日目(9/25) ベートーヴェン・セレブレーション1

Beethoven 250 Celebration 1

ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第32番八短調 op.111

Beethoven: Piano Sonata No.32 in C minor op.111

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第15番イ短調 op.132

Beethoven: String Quartet No.15 in A minor op.132

ドヴォルザーク:ピアノ五重奏曲第2番イ長調 op.81, B.155

Dvořák: Piano Quintet No.2 in A major op.81, B.155

第2日目(9/27) ベートーヴェン・セレブレーション2

Beethoven 250 Celebration 2

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第13番変ロ長調 op.130

Beethoven: String Quartet No.13 in B-flat major op.130

ブラームス:ピアノ三重奏曲第2番ハ長調 op.87

Brahms: Piano Trio No.2 in C major op.87

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第16番ヘ長調 op.135

Beethoven: String Quartet No.16 in F major op.135

※料金は税込です。本紙掲載の料金のほか、発売時に所定の手数料がかかります。

手数料はお支払方法により異なります。

※やむを得ない事情により公演中止となる場合には、チケット購入者に券面表示金額にて

払戻しいたします。手数料等の払戻しはございません。予めご了承ください。

※出演者・曲目・演奏順は予告なく変更となる場合があります。予めご了承ください。

※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。

※乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

【主催】公益財団法人 日本製鉄文化財団

2014年にカルテット、翌15年にバッハの無伴奏全曲で喝采を受けたクリスティアン・テツラフが、ベートーヴェンの生誕250周年と紀尾井ホールの25周年を祝うこのプロジェクトだけのために、彼が最も信頼する仲間であるテツラフ・カルテットとラルス・フォークトとともに戻ってきます。プログラムは、ベートーヴェンの最後の弦楽四重奏曲とピアノ・ソナタ、そして美しいカヴァティーナと“永遠の現代性”と称えられる大フーガを併せ持った弦楽四重奏曲第13番に、“病より癒えたる者の神への聖なる感謝の歌”で名高い同第15番など、この作曲家のみに許された前人未到の傑作を集め、さらに彼の影響を受けた後輩作曲家の作品を組み合わせました。これ以上ない、まさに極みの内容で2日に亘って開催される豪華な祝宴にご期待ください。



クリスティアン・テツラフ (ヴァイオリン) Christian Tetzlaff, violin

1966年ドイツ・ハンブルク生まれ。クラシック音楽界で最も引く手あまたのヴァイオリン奏者のひとりとして、長年にわたりエキサイティングな活動を展開してきた若き巨匠。ガーディアン紙(T.アシュレイ)は、テツラフの独奏によるベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲(指揮:ダニエル・ハーディング)について、「これまで聴いてきたこの作品の全ての演奏を凌ぐ」と評した。フランクフルター・レントシャウ紙(H-K. クンクハインリヒ)では、馴染みのあるベートーヴェンの協奏曲を「再発見」させる演奏と称えられた。

これまで、ベルリン・フィルのアーティスト・イン・レジデンスを務めたほか、ウィーン・フィル、ニューヨーク・フィル、ロイヤル・コンセルトヘボウ管をはじめとするトップ・オーケストラに定期的に客演。リサイタル奏者や協奏曲のソリストとしての活動と同等に室内楽も重視し、1994年には弦楽四重奏団「テツラフ・カルテット」を結成。同団でのアルバムはディアパゾン・ドールなどの賞を獲得している。ラルス・フォークトと妹タナー・テツラフとのトリオでは、グラミー賞にノミネートもされた。ソロ・アルバムも数多くの賞に輝いている。定期的にクロンベルク・アカデミーで後進の育成にも励んでいる。

使用楽器は、ドイツのヴァイオリン製作者シュテファン＝ペーター・グライナー作。

<https://www.christian-tetzlaff.de/>

テツラフ・カルテット (弦楽四重奏) Tetzlaff Quartett

ニューヨーク・タイムズ紙より、その「熾烈を極める、ドラマティックでエネルギッシュな演奏」を称えられたテツラフ・カルテットは、クリスティアン・テツラフ、タナー・テツラフ、ハナ・ヴァインマイスター、エリーザベト・クフェラートにより、1994年に結成された。今日、もっとも優れた弦楽四重奏団のひとつと目されている。個々の輝かしい演奏活動と並行して、4人が毎シーズン行っている公演は、いずれも高い評価を得ている。

2010年、シェーンベルクの弦楽四重奏曲第1番とシベリウスの《内なる声》を組み合わせた異色のデビュー盤をC.Avi-musicレーベルからリリース。2014年11月に発表したアルバム『メンデルスゾーン:弦楽四重奏曲第2番、ベルク:抒情組曲』は、グラモフォン誌の“エディターズ・チョイス”に選ばれた。2020年4月には3枚目となるアルバム『ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第13番&第15番』をOndineレーベルからリリースした。

<https://www.christian-tetzlaff.de/tetzlaff-quartett/>

エリーザベト・クフェラート (第2ヴァイオリン)

Elisabeth Kufferath, violin

ルツェルン、シュレスヴィヒ＝ホルシュタイン、ラインガウ、ラヴィニア、アスペンをはじめとする国際音楽祭にたびたび出演し、ソリスト・室内楽奏者として、これまでにベルリン・フィルハーモニー、ケルン・フィルハーモニー、ウィーン楽友協会、ルーヴル美術館オーデトリウムなどのホールで演奏。ラルス・フォークト、アンテクト、ヴァイトハース、イザベル・ファウスト、イェンス＝ペーター・マインツとは、室内楽のパートナーとして頻りに共演している。1997年から2004年までパンベルク交響楽団のコンサートミストレスを務めた後、現在はハノーファー音楽大学で後進の育成にも励んでいる。使用楽器はシュテファン＝ペーター・グライナー製。

<https://elisabethkufferath.de>

ハナ・ヴァインマイスター (ヴィオラ)

Hanna Weinmeister, viola

ザルツブルクのモーツァルト国際コンクール、ロン＝ティボー国際コンクールなど、数多くの国際コンクールに入賞。優れた室内楽アンサンブルに贈られるパークハウス・アワード(ロンドン)にも輝く。現在、チューリヒ歌劇場管弦楽団の第1コンサートマスター。これまでにソリストとして、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、バーデン＝バーデン・フライブルク南西ドイツ放送交響楽団、モーツァルト管弦楽団、ヨーロッパ室内管弦楽団などと共演。室内楽の主なパートナーに、ハインリヒ・シフ、レオニダス・カヴァコス、ハインツ・ホリガー、ゴドン・クレームル、ベンヤミン・シュミットがいる。シュテファン＝ペーター・グライナー作のヴィオラを使用。

タナー・テツラフ (チェロ)

Tanja Tetzlaff, violoncello

ハインリヒ・シフらに師事。1994年ミュンヘンARDコンクールで第3位に入賞。これまで、ダニエル・ハーディング、ロジャー・ノリントン、ウラディーミル・アシュケナージ、パーヴォ・ヤルヴィらの指揮のもと、ドイツの一流オーケストラはもとより、ドイツ・カンマーフィル・プレーメンをはじめ、チューリヒ・トーンハル管弦楽団、カメラータ・ザルツブルク、チャイコフスキー記念モスクワ放送交響楽団などにソリストとして客演。とりわけ室内楽に情熱を傾け、ラルス・フォークト、マーティン・フレスト、レイフ・オヴェ・アンズネス、グニッラ・シュスマンらとたびたび共演を重ねる。リソル、ベルゲン、シュヴェツィンゲン、ハイムバッハ、カレメンの各音楽祭、ベルリン芸術週間、ポンのベートーヴェン・フェストより定期的に招かれている。使用楽器は1776年製ジョヴァンニ・バッティスタ・グァダニーニ。

<https://tanjatetzlaff.com/>

ラルス・フォークト (ピアノ) Lars Vogt, piano



1970年ドイツ・デュレン生まれ。1990年、リーズ国際コンクールで第2位に輝き脚光を浴びて以来、四半世紀にわたり多彩なキャリアを築いてきた。そのレパートリーは、モーツァルト、ベートーヴェンなどの古典派から、シューマン、ブラームス、グリーグ、チャイコフスキー、ラフマニノフなどのロマン派、さらには眩いまでのルトスワフスキの協奏曲まで、多岐にわたる。

これまで、クラウディオ・アバド、ダニエル・ハーディン

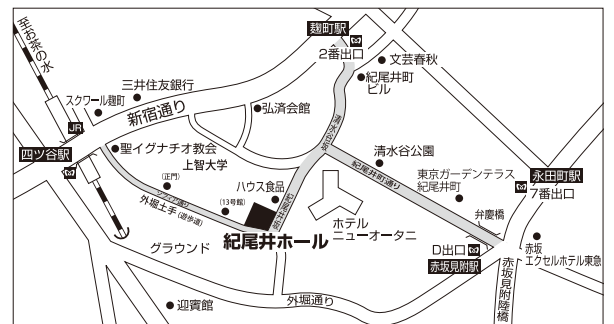
グ、マリス・ヤンソンス、パーヴォ・ヤルヴィ、アンドリス・ネルソンス、サイモン・ラトル、ロビン・ティルチアーティら、世界最高峰の指揮者に率いられ、ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、バイエルン放送交響楽団、パリ管弦楽団など、多くの一流オーケストラと共演してきた。また、2003/04年シーズンにベルリン・フィルの初のピアニスト・イン・レジデンスを務めて以来、同団とは特別な関係を育み、共演を重ねている。

<http://www.larsvogt.com/>

紀尾井ホールにご支援いただいている企業および個人の方々です

紀尾井サポートシステム会員 (五十音順「株式会社」等表記及び敬称略)

- 《特別協賛会員》 A.ランゲ&ゾーネ/日鉄ソリューションズ/三菱商事/三菱地所
- 《みやび会員》 伊藤忠商事/大島造船所/KDDI/菅原/住友商事/丸紅/三井住友銀行/三井物産/三井不動産/三菱商事/三菱地所/メタルワン ほか匿名2社
- 《ひびき会員》 オカムラ/きらぼし銀行/高砂熱学工業/竹中工務店/山下設計
- 《みどり会員》 青鬼運送/赤坂維新線/赤坂 エクセルホテル東急/今治造船/ヴォートル/エケーディ/A.ランゲ&ゾーネ/NSシンフォニー・オーケストラ/NTTDコモ/荏原冷熱システム/鹿島建設/ザ・キャピトルホテル 東急/三協/清水建設/上智大学/スタインウェイ・ジャパン/西武プロパティーズ/大成建設/千代田商事/テュエスト・ライブ/東芝ライテック/永田音響設計/日活アド・エイジェンシー/ニュー・オータニ/ハウス食品グループ本社/パナソニック/富士ゼロックス/松本楽器商会/三井住友信託銀行/三菱電機ビルテクノサービス/三菱UFJ銀行/三菱UFJ信託銀行/三菱UFJモルガン・スタンレー証券/ミュージション/明治座舞台/ヤフー/ヤマハサウンドシステム/有帆
- 《あおい会員》 青木陽介/石崎智代/磯部治生/井上善雄/片山能輔/久保祐子/栗山信子/倉吉達也/近藤貴子/佐久間庸行/佐部いづ子/志立正嗣/清水 正/清水多美子/清水康子/鈴木 亮/高下謙老/高橋義徳/外山雄三/鳥居壯太/中西達郎/西村勉美/原田清朗/北條哲也/牧本恵美子/松枝 力/松本美恵/筑輪永世/宮本信幸/隆田 実/村上喜代次/持留宗一郎/八木一夫/八木晶子/山内寿実 ほか匿名20名 計105社(2020年4月1日現在)



- [最寄駅]
 ●四ツ谷駅(R線・丸ノ内線・南北線) 越町口ほか 徒歩6分
 ●麹町駅2番出口(有楽町線) 徒歩8分
 ●赤坂見附駅D出口(銀座線・丸ノ内線) 徒歩8分
 ●永田町駅7番出口(半蔵門線・有楽町線) 徒歩8分



紀尾井ホール

公益財団法人 日本製鉄文化財団

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町6番5号 ☎03-5276-4500(代) <https://kioihall.jp>